

事業番号	09 03 07	事業改善シート（24年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	県産材供給体制整備事業			担当課	部局	林務部
				担当課	課・室	信州の木振興課県産材利用推進
<参考>	プロジェクト			担当課	E-mail	mokuzai@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画	施策の総合的展開	1-4 森林を活かす力強い林業・木材産業づくり 2 信州の木の利用促進		実施期間	S60 ~	

1 事業の概要

目指す姿	森林づくり指針に基づき、「集中型」、「連携型」、「地産地消型」の体制確保に資する木材の生産・加工・流通施設の整備を支援し、品質・規格の明確な県産材製品の利用促進を通じた競争力のある木材産業の育成と健全な森林の育成を推進する。 現状の県産材製材品出荷量120千m3(H21)をH32に237千m3とする。					
現状	<ul style="list-style-type: none"> 木材需要が減退し、木材価格が低迷している。 県外に設置が進む大規模工場への対抗、製材会社間の連携等により県内の木材産業の体質強化が必要である。 林業再生の両輪となる森林整備と県産材利用は県が積極的に関与し推進する必要がある。 経済状況に左右されない、安定的な県産材供給と県産材製品生産体制を構築していく必要がある。 					
県が関与する理由	<input type="checkbox"/> 法令等義務 <input type="checkbox"/> 内部管理 <input checked="" type="checkbox"/> 県でなければ実施不可 <input type="checkbox"/> 民間、市町村でも実施可能だが、県関与の必要性有 <input type="checkbox"/> その他()		【左記の説明、根拠法令等】 森林整備加速化・林業再生事業費補助金実施要綱(国)、県産材供給体制整備事業補助金交付要綱(県)			
事業内容	① 成果目標(H24)					
	製材施設等を整備し、製材品出荷量109千m3(現況)を110千m3(H24)とする。					
	② 事業内容 (単位:千円)					
		項目	実施方法	H24事業実績	H24 (当初)	H24 (決算)
	県産材供給体制整備	補助金	製材施設、木屑吹きボイラー、製品保管庫等の整備6箇所	144,850	120,141	149,803
			合計	144,850	120,141	149,803

事業コスト	区分(単位:千円)	22年度	23年度	24年度	25年度
	前年度繰越		112,325	20,000	0
	当初予算	123,725	309,685	144,850	149,803
	補正予算	97,000		-44,709	
	合計(A)	220,725	422,010	120,141	149,803
	国庫支出金		187,570	32,660	
	県債				
	その他(繰入金)	220,725	234,440	87,481	149,803
	一般財源	0	0	0	0
	決算額(B)	63,625	391,827	120,141	149,803
概算人員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	
概算人件費(C)	826	826	826	826	
概算事業費(B(A)+C)	64,451	392,653	120,967	150,629	

成果目標の達成状況					
項目	現況(見込)	H24			H25 目標
		目標	成果	達成状況	
県産材製材品出荷量	109千m3	110千m3	106千m3	未達成	130千m3

目標に対する成果の状況	県産材製材品出荷量は、現況数値(109千m3)から減少(H23数値106千m3)し、目標を未達成である。 原因として世界的な経済不況のもと、住宅着工の減少や木材価格低迷等がひびき、木材需要が減少していることにある。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか。	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	地域の森林資源、林業・木材産業動向に応じ、「長野県森林づくり指針」に掲げる「地産地消型」、「連携型」及び「集中型」の3つの型の施設整備を行う事業者を支援していく。